

## 地域の会 質問・意見書

日付： 2022年 7月 18日

氏名： 宮崎 孝司

東京電力

に対する  質問 ・  意見 (いずれか○)

地域の会6月と7月の福島第一原発廃炉措置に関する報告書に、1号機の原子炉圧力容器を支える土台（ペDESTAL）が壊れていたと報告がありました。詳しい調査はこれからと聞きましたが、マスコミの報道によれば、土台の4分の1程度コンクリートがなくなっている。圧力容器の重さは約440トンもあり、次に来る大きな地震で壊れるかもしれないと伝えられています。

### ◎東京電力に要望意見

新潟日報の記事には、資源エネルギー庁の木野廃炉・処理水対策官が、「衝撃的だ。」とこの土台損傷がただならぬ事態だとの発言が載っています。地域の会の廃炉措置に関する報告書には、「土台損傷の危険性」については一言も触れられていません。地域の会で詳しく説明してください。

### ◎東京電力に質問（地域の会で説明されるのであれば、そこで答えてください。）

質問1. コンクリートがなくなっている位置は、デブリのあるところと重なっているのですか。

質問2. デブリは溶融燃料の塊ですから、相当の高温です。コンクリートを溶かすことは想像できますが、

写真には鉄筋が映っています。鉄筋が解けてもおかしくないわけですが、どうして解けなかったのでしょうか。

質問3. 台座が壊れれば、重さは約440トンの圧力容器が落ちてきます。格納容器を壊すことも考えられます。

先の木野対策官の想定では、圧力容器が落下すれば、燃料デブリが取り出さなくなると言っています。

最悪どのような事態になるのか、想定されることを教えてください。

また、最悪の事態にならないようにどのような対策を考えていますか。

## 地域の会 質問・意見書

日付： 2022年 7月 18日

氏名： 宮崎 孝司

規制委員会（規制庁）

に対する 質問 ・ 意見（いずれか○）

地域の会6月と7月の福島第一原発廃炉措置に関する報告書に、1号機の原子炉圧力容器を支える土台（ペDESTAL）が壊れていたと報告がありました。詳しい調査はこれからと聞きましたが、マスコミの報道によれば、土台の4分の1程度コンクリートがなくなっている。圧力容器の重さは約440トンもあり、次に来る大きな地震で壊れるかもしれないと伝えられています。

### 質問1

新規制基準は、福島原発の事故をもとに出来たわけですが、土台（ペDESTAL）崩壊は今回初めて確認されたことです。土台崩壊防止の基準は新たに作成されるのでしょうか。

### 質問2

これまでのデブリ取り出しはロボットを使い試行錯誤状態で、確定した方法は見つかっていません。報道では、更田委員長は「改めて大きな地震に襲われた時に土台は持つのか。（デブリ取り出しで）悠長なことは言っていない。」とありました。大きな地震が頻繁に起きています。デブリを取り出して廃炉にする方針を中止して、チェリノブイリ原発のように、コンクリートで固めてしまう方法に転換したほうが良いのではありませんか。

規制委員会では、廃炉作業の見直しは検討されていますか。

### 質問3

7月6日の地域の会の福島第一原発廃炉措置に関する報告書に、「テーブル状の堆積物があり、当該堆積物株の壁面を確認したところ、コンクリートがなく、鉄筋等が露出している」とあります。

新規制基準では、炉心の下部に溶融燃料を冷却する「コアキャチャーに相当する設備」を設けることになって、柏崎刈羽原発6,7号機にも設置されたと聞いています。福島のようにテーブル状の物体が落下しても、「コアキャチャーに相当する設備」は機能するのでしょうか。